



鶴の便り 鶴の便り

夕鶴の里資料館報

平成25年10月20日

第34号

発行 夕鶴の里

TEL 47-5800

大盛況!

第十四回 夕鶴の里

民話まつり

十月六日(日)夕鶴の里の「**大イベント**」である「民話まつり」が夕鶴の里語り部ホールで開催された。

夕鶴の里自主事業実行委員会(金田祐一委員長)の主催で、今年で十四回目。当日は、語り部養成講座受講生の子どもと大人各二名が練習の成果を披露したほか、民話会ゆづるからは、三名が熟練された語りを披露しました。

岡山からお招きした、ゲストの立石憲利さんは、岡山に伝わる民話を中心に、おもしろおかしく、しかも体全体で語っているのが印象的でした。

桃太郎のお話に、さるかに合戦が登場するのが不思議であり、おもしろかったです。「民話は、地方によっても違うし、桃太郎のお話一つとってもいろいろな桃太郎がありますよ」と立石おじさんは語って下さいました。あらためて、民話の楽しさ、奥深さを感じました。

今年の民話まつりは、PRも例年以上に頑張り、各広報紙への掲載はもちろん、広くPRするため、民話会ゆづるの方々9名が、TUY(テレビユー山形)の「きになるメッセージ」、(十月一日放送)に出演して「民話まつり」の開催を呼びかけてきました。

PRの成果により、市外、県外から多くのお客様が来場になり、会場は熱気に包まれていました。

当日の出演者は次の方々です。

語り部養成講座受講生

《子どもを受講生》

・遠藤優綺(宮内小三年)
「和尚と小僧」

・山田璃可子(赤湯小六年)
「牛蒡と人参と大根」

《大人を受講生》

・齋藤和子(南陽市)
「大銀杏と与平兵エドの」

・加藤知実(南陽市)
「白竜湖の琴の音」



民話会ゆづるの語り

・島貫貞子
「十二支ばなし」

・菅野敏子
「まごころの一文銭」

・堀敏子
「杉の苗」



ゲストの語り

★岡山の立石おじさん

立石憲利さん

岡山弁がなんとも温かい



テンポ良く語る
桃太郎話

穴一遊びとメンコ

ビー玉は小遣い銭で買える遊びで、夏でも冬でもできる遊びだったから、ポケットに二つ三つ入っていたものである。ある「遊び」の研究者の本には、遊びの中で最も歴史の古い遊びで、子どももゴルフだと書いていた。

入れる穴を小さくすると、急に難しくなる。ビー玉のなかった時代には河原で小さい丸い石を拾ってやっていて、穴に入れる前には、地面に輪型に描いた中に入れる遊びであつたらしい。

ゴルフをテレビで見ていると、長い距離を転がして、みごとに穴に入れるのを見て、手を叩いてやりたくなる。

ゲームの方法がいろいろ考えられるようになったのは、江戸時代だと言われるが、賭けでやることは禁じられたので、大人の遊びから子どもたちの遊びに変化したのだろう。小石でやる時代が終つてから、粘土を丸めて、日干しにしてやった時代もあつて、誰が考えたのだろう、七福神や、刀、鉄砲などを描いて固めたものが流行した時代もあつたという。

絵の方が面白いということになり、当時の歌舞伎役者の顔を厚紙に貼りつけ、丸型や角型に切つて、地面に四角の枠取りをし、

その中で裏返しにしたり、枠から外へ押し出して勝負するような遊びに変わったのだつたらう。

私が子ども時代のメンコはもっぱら戦争の絵がメンコに貼りつけられたものが流行し、遊びそのものも、ニセアカシアの棘の皮をむいて刀を作り、相手を切るといった遊びが流行したが、ニセアカシアの棒は川原に行けばいくらもあつたから、金もかからず、よく友人四、五人で川原に半日遊んだものであつた。

もうすこし工夫をして、コマ遊びもよくやったもので、自分で工夫して、いろいろの形のコマを作つたが、丸い鉄をはめたコマには、いつも負けてしまったものであつたが、芯の先を二股にして、綱渡りをする先輩をうらやましく見ていた記憶がある。

夕鶴の里特別研究員

武田正



早くも!!! 上半期終了!!

4月〜9月までの

入館者数

上半期が終了し、9月までの入館者数は左記のとおり、前年対比五十六%で、大幅に減少しました。

要因として、昨年は4月にほぼ毎日旅行会社のツアーが来館しましたが、今年はツアーでの来館や、宮城方面からの修学旅行の学校が減ったことなど。また、最近の傾向としては、団体ではなく、小グループや個人での来館者が多くなつてきていることなどが考えられます。

	24年度	25年度	前年比
4月	3,357名	330名	10%
5月	709名	798名	112%
6月	1,658名	1,634名	98%
7月	995名	683名	67%
8月	567名	566名	100%
9月	975名	597名	62%
計	8,261名	4,608名	56%

十一月の予定

◆民話会ゆづる定例会

日時 十一月一日(金)
午前十時
場所 夕鶴の里 和室

◆まゆの里事業

染め織り講習会(第四回)
日時 十一月十日(日)
午前十時
場所 夕鶴の里 和室

染め織り講習会(第五回)
日時 十一月十七日(日)
午前十時
場所 夕鶴の里 和室

◆ふるさと講座

『木の文化を語る』
講師 森林の活用と保護
日時 十一月二十三日(土)
午後一時三十分
場所 結城豊太郎記念館

◆昔のあそび

『蒸しパンを作つて たいよう』
日時 十一月二十四日(日)
場所 夕鶴の里 調理室
参加費 1人二〇〇円

